

宿泊データ収集・分析システムについて

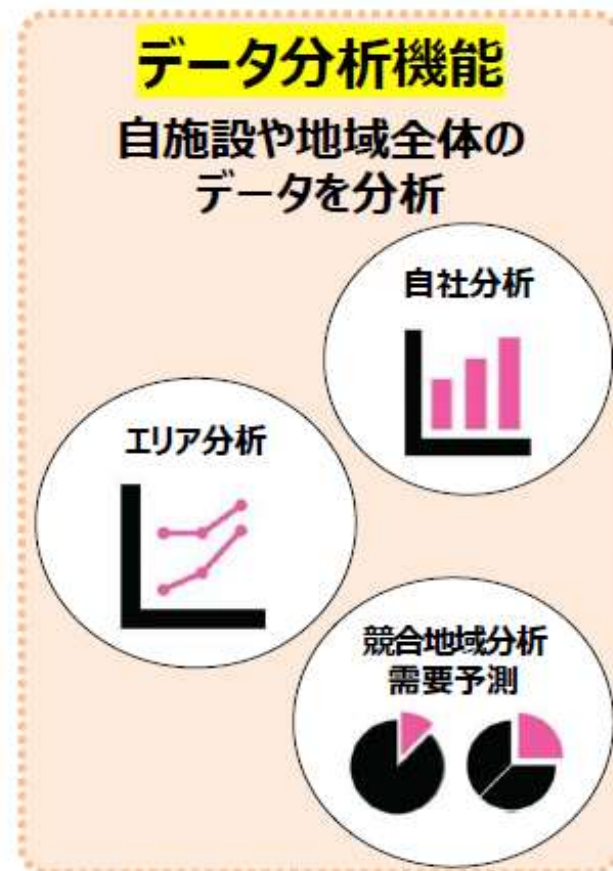
1. 宿泊データ分析システムの概要

宿泊施設が保有する観光客のデータを収集し、提供いただいたデータを活用して、自施設や地域全体のデータを分析して、どのような観光客が地域に来ているのかを正確に把握することができます。



宿泊データ 分析システム

どのような観光客が
地域に来ているのか



宿泊データ収集・分析システムについて

2. データ収集方法

主なデータの収集方法は3つ。

いずれも簡単にデータを収集することができます。

① 「ホテル管理システム(PMS)・サイトコントローラーと自動連携させる」

② 「Excelファイルを取り込む」

③ 「手入力で登録する」

※データ収集の際に、個人情報は匿名処理されます。

効率的にデータ収集



外部データも収集

地域が独自収集したデータ
全国規模の観光関連データ

<補足>

① 「ホテル管理システム(PMS)・サイトコントローラーと自動連携させる」

→宿泊データ収集・分析システムと自動連携した場合、システム登録等の作業は不要となり、毎月の報告も不要となります。

自動連携しているPMS：

「陣屋コネクト」「RoomBoss」「FUTURE V」「支配人くん」「ステイシー」

② 「Excelファイルを取り込む」

→宿泊データ収集・分析システム報告用のファイル（Excel）に情報を取り込み（入力）、アップロードします。

※使用しているホテル管理システムから出力されたデータファイルをそのままアップロードすることも可能。要改修

宿泊データ収集・分析システムについて

3. データ収集項目～多角的に分析するための 24 項目～

導入時に24項目すべてを収集する必要はなく、まずは必要なデータから始め、徐々に分析に必要な項目を増やしていくこともできます。

No	項目名	入力例
1	対象施設	施設名称
2	到着日	2020-01-01
3	出発日	2020-01-03
4	居住国	日本
5	居住地域（都道府県）	青森県
6	居住地域（市区町村）	青森市
7	性別	男性
8	生年月日	1970/12/13
9	年齢	49
10	同伴者人数（大人男性）	1
11	同伴者人数（大人女性）	0
12	同伴者人数（小人）	0
13	客室タイプ	和室
14	食事条件	1泊2食
15	交通手段	車
16	旅行目的	観光
17	前泊地	名古屋
18	行先地	白川郷
19	宿泊予約日	2019/06/21
20	宿泊金額	15,000

No	項目名	入力例
21	販売チャネル ・業者 ・インターネット(OTA・自社HP) ・直接申込 ・寮・保養所扱い	自社ホームページ
22	宿泊／日帰り	日帰り
23	新規／リピーター	リピーター
24	合計館内消費額	30,000

宿泊データ収集・分析システムについて

4. データ分析方法

宿泊データ分析システムは、赤い画面と青い画面の2つの画面で利用します。

赤い画面は自施設のデータを分析するとともに、地域全体との比較などを行い、自施設をメインとした分析ができます。

青い画面は地域全体をより深掘りしていくもので、他地域との比較や需要予測、クロス集計などができます。

分析・見える化 (2画面)



1、自施設のデータを分析する

- ・自施設のデータを見る
- ・自施設のデータと地域全体を比較する など



実画面：
簡単に切替可能

2、地域全体のデータを分析する

- ・地域全体と他地域を比較する
- ・需要予測を行う
- ・クロス集計 など



※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設や DMO から閲覧されることはありません。

宿泊データ収集・分析システムについて

4. データ分析方法

収集されたデータはボタンひとつで簡単にグラフ化できます。

これらのごく一部の例ですが、「宿泊者数の推移」、「国籍別の一人当たりの消費額」、「年齢別の宿泊者数」、「競合地域との比較」や「需要予測」などがあります。

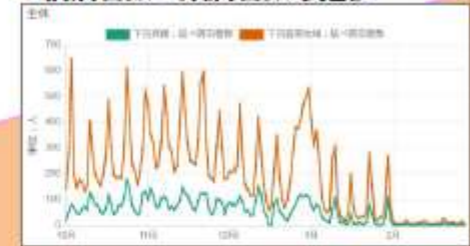
分析・見える化 (2画面)



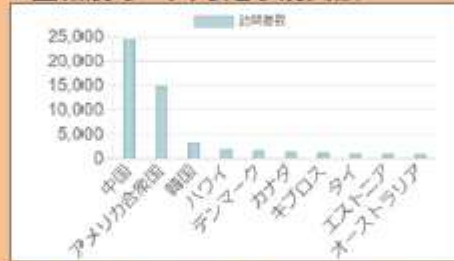
■ 宿泊者数・来店者数の推移



■ 宿泊者数・来店者数の推移



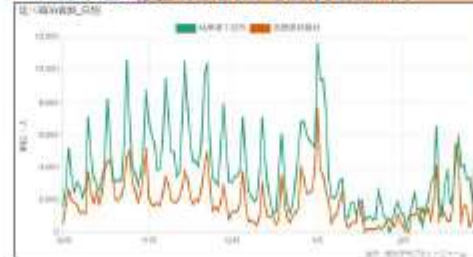
■ 国籍別の一人あたり消費額



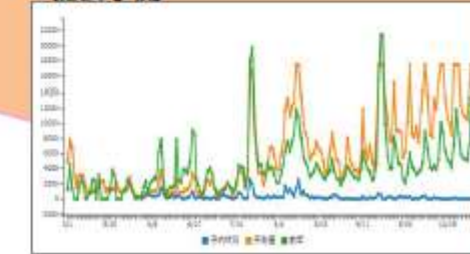
■ 年齢別の宿泊者数



■ 競合地域との比較 (宿泊客数等)



■ 需要予測



宿泊データ収集・分析システムについて

4. データ分析方法

2つのデータを掛け合わせて精緻な分析をするクロス集計を行うことも可能です。

地域を分析する青い画面だけではなく、自分の施設を分析する赤い画面でも活用できます。

「性別x年代別」「性別 x 金額層」「旅行形態 x 金額層」など様々な掛け合わせの分析が可能です。

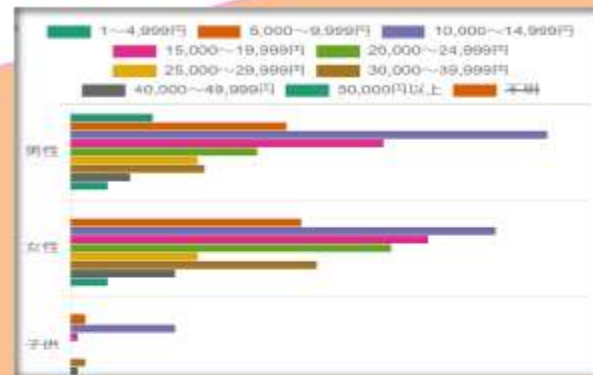
分析・見える化 (2画面)



■性別 x 年代別



■性別 x 金額層



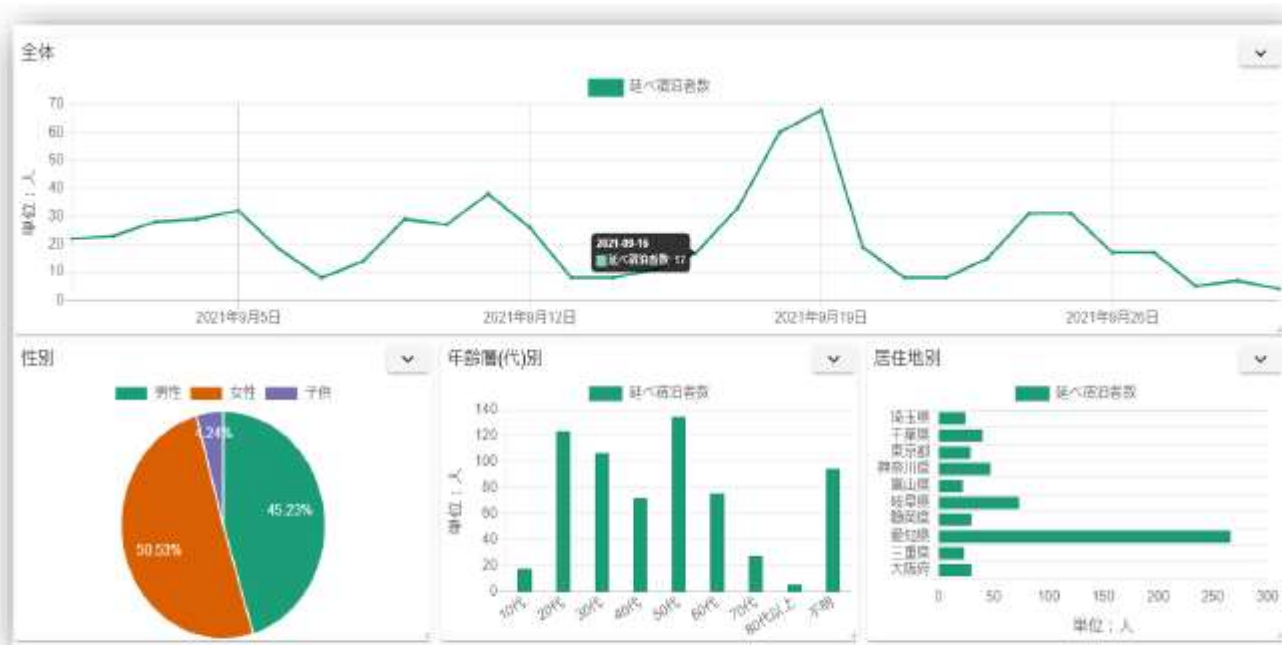
■旅行形態 x 金額層



宿泊データ収集・分析システムについて

5. 事業者のメリット 1

簡単にデータをグラフとして表示できます。



- ✓ 通常、作成に時間のかかるグラフの作成がボタンひとつで一瞬でできる
- ✓ グラフ作成時間が削減でき、分析や企画検討に時間を割ける
- ✓ 必要に応じて様々なグラフの作成が可能

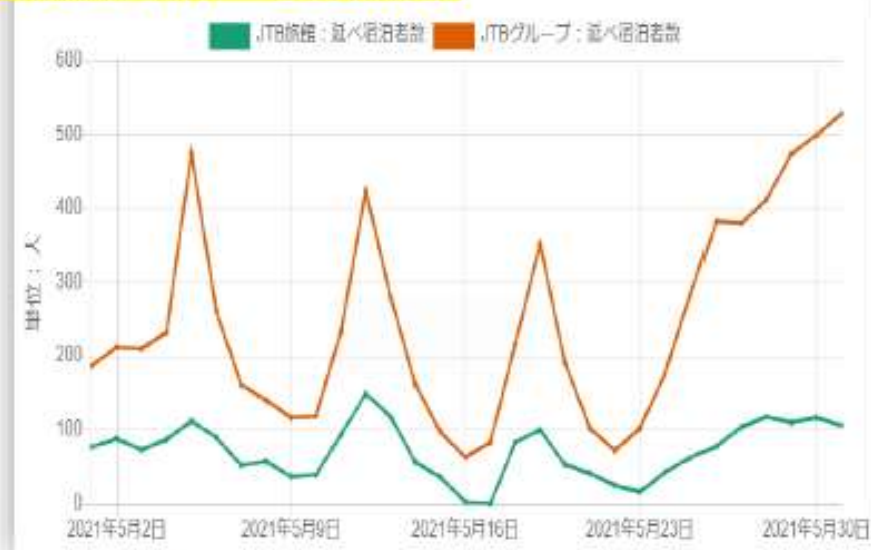
※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

宿泊データ収集・分析システムについて

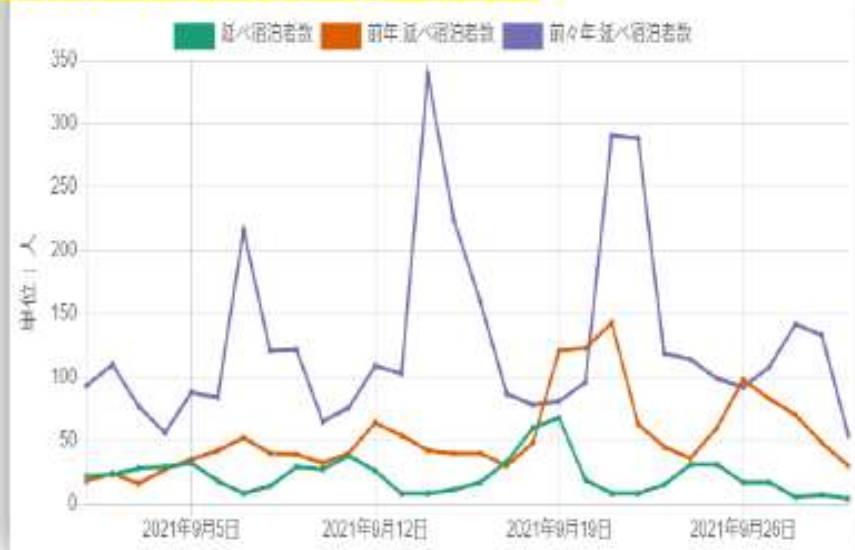
5. 事業者のメリット2

地域全体や過去データと効果的に比較が可能で、客観的に強み弱みを把握できます。

【地域全体データと比較】



【前年・前々年データと比較】



- ✓ 地域全体データと比較することで、客観的に自施設の強み弱みを把握できる
- ✓ 前年・前々年データと比較することで、客観的に自施設の傾向を把握できる

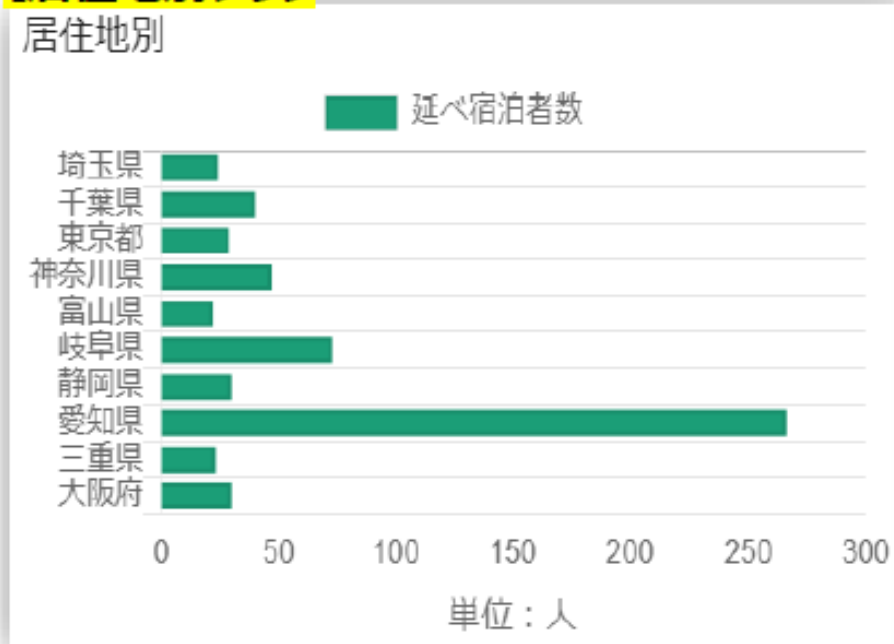
※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

宿泊データ収集・分析システムについて

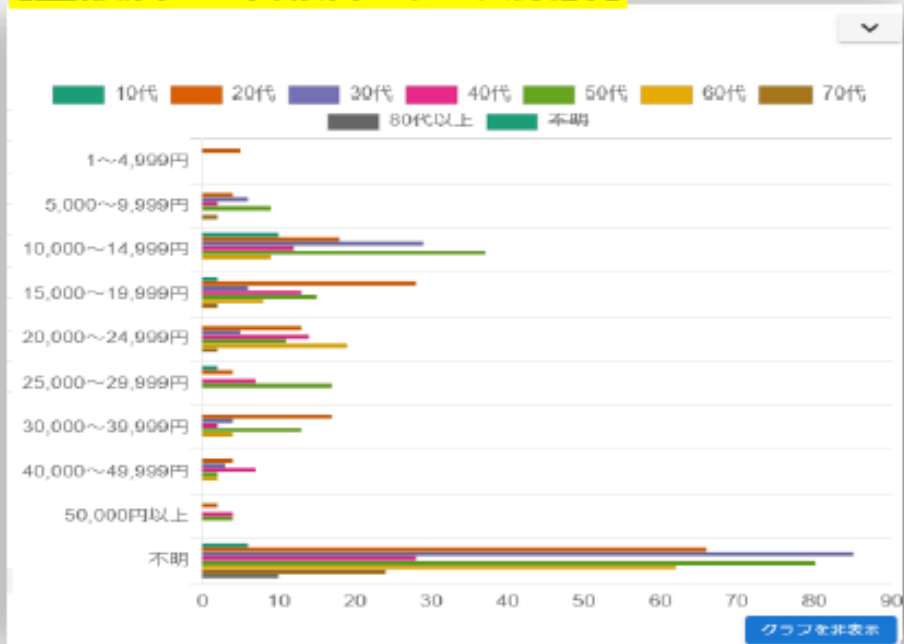
5. 事業者のメリット3

戦略的に今後の打ち手を検討できます。

【居住地別グラフ】



【金額層 x 年齢層のクロス集計】



- ✓ 客観的なデータに基づいて分析を行い、戦略的に打ち手を検討できる
- ✓ 自施設の分析でもクロス集計が使えるようになり、さらに精緻な分析ができる

※自施設のデータは、自施設のみ閲覧可能で、他施設やDMOから閲覧されることはありません。

宿泊データ収集・分析システムについて

6. 地域全体・観光地域づくり法人（DMO）等のメリット

これまでの経験や勘により実行していた各種施策をデータに基づき実行することで、PDCAサイクルの実施が可能となり、持続可能な観光地域づくりを目指せます。



- ✓ 感覚ではなく客観的データで分析を行えるので、場当たりの戦略にならない
- ✓ 地域全体としてデータ分析することで、地域として効果的な打ち手を打ち出せる
- ✓ 打ち手の効果検証も速やかに行えるので、次の打ち手に向けてすぐ対応できる
- ✓ 客観的データに基づいて論理的に組み立てられた事業は検証可能で、計画された事業の成功率が高くなる

宿泊データ収集・分析システムについて

7. 岐阜県観光連盟が目指す取り組み

- (1) 岐阜県内の宿泊者データを収集・分析できる独自の体制構築に取り組み、DMOの役割である『データに基づく戦略（ブランディング）の策定』、『KPIの設定』、『PDCAサイクル』を実施する。
- (2) 地域DMO等のデータ収集・分析を支援する。



県全体の宿泊者データだけでなく、各地域の関係者が自エリア内のデータが活用できるようよう岐阜県独自のシステムを構築。

	宿泊事業者 (旅館・ホテル)	地域DMO等	岐阜県 岐阜県観光連盟
各施設の宿泊データ	○ ※自施設のみ	×	×
地域（エリア）の宿泊データ	○ ※自地域のみ	○ ※自地域のみ	○
県全体の宿泊データ	○	○	○

※各施設の宿泊データは、自施設のみ閲覧が可能であり、他施設やDMO等からは閲覧できない

